

## 1月9日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①ウクライナ将軍のナチ度(2024年1月7日)

ウクライナ軍ロマン・スビタノ連隊長:あいつら人間じゃない、テロリストだ。

全部やるべきだ。そうするメカニズムがあるし合法なんだから。最近、起きてる件にあっちのロシア側で関わった者は全て、テロリストに認定して、抹殺すべき。そのための仕組みを進めるべきだ。

そのための特別な要員を恒常的に配置すべきだ。こういう仕事は大変だろうが、10年や15年の間であって、それ以上はかからない。10年か15年あれば、あいつら生物ゴミを完全に絶滅できるだろう。あいつらはテロリストで生物ゴミなんだから、最もピュアな方法でやればいい。

あいつらは人間もどきの子どもだ。決して人間界にはいけないのだ。言ってみれば狂犬だ。射殺して問題を解決すべきだ。そうしないと、時間が経てば、我々があいつらをやったら犯罪者にされる。

<https://twitter.com/i/status/1743964337264533665>



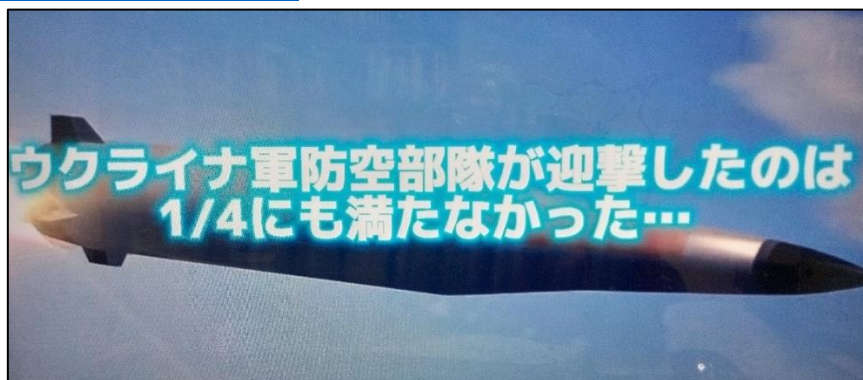
[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1743964337264533665?s=09](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1743964337264533665?s=09)

### ②【RusNews 解説】BRICS プラス誕生！～年未年始に激しい〇撃!!(2024年1月5日)

2024年初めの時事ネタ土曜版をお届け致します:

1. 年未年始の〇撃結果を深読み
2. 戦況
3. BRICS プラス誕生～新加盟イランでテロ！

<https://youtu.be/XGq9k-prGYU>



<https://www.youtube.com/watch?v=XGq9k-prGYU>

### ③「人間として戦う」、ドネツク指導者プシーリンさん(2024年1月8日)

もし、私たちが敵がやっているようなことをすれば、私たちはどうして敵よりマシだと言えるだろうか？ 私たちは何と戦っているんだ？ 私たちは全ての人々を一つの決意のもとに国、そして大統領を中心として団結させることができた。

なぜなら、私たちが正義心をもって行動し、正しいことをしているのを人々が見ているからだ。

私たちは内部に、手っ取り早く市民に対し大規模な爆撃をして勝利を得ようとする者がいたら絶対に許さないだろう。私たちがそんなことは許さない。

不幸なことに、それは私たちにとって悲劇だし、私たちが今、苦しめられているいかなる死より辛いことだろう。もちろん、歯ぎしりもする。今、失われているのは私たちの愛する人々なのだから。だが、私たちは2014年からこういう中で生きてきたが、人間性を失ったことはない。

ここでは良識的な人間性を失うことは、私たちの国にとって最も大変なことだと認識されるだろう。まさに、私たちの大統領(ロシアのプーチン大統領)がそう言っている。人間であり続けると。

私たちは頑張っている。軍事的には必死で頑張って、勢いが出てきた。

しかし、攻撃するのは軍のインフラや軍事施設だけだ。いかなる形でも市民、母親や子どもたちを傷つけてはならない。

そう、敵は一線を踏み越えている。こうした敵の非人間性は、当然、私たちに力を与える。

私たちがどんな者たちを相手に戦っているのか、よくわかる。

しかし、彼らのように行動しない。そんなことをしたら、私たちは戦う理由を失ってしまうだろう。それは私たちにとって最も辛いことになるだろう。だから、私たちは大統領を完全に支持する。

だから、その質問は修辭学的だ。

勝利のため、敵を打ち負かすため、武器を手に相手に脅威を与える。

だが、何があっても市民には指一本触れない。

とても難しい課題だ。だが私たちの国ロシアにとって、初めてではない。私たちの国はこの課題に取り組んでいる。私たちはこの課題を達成できると信じている。

<https://twitter.com/i/status/1744046544045912262>



[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1744046550786113943](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1744046550786113943)

#### ④上川外相、ゼレンスキー大統領と会談 支援継続の立場「揺るがない」(2024年1月8日)

上川陽子外相は7日、#ウクライナ の首都キエフで #ゼレンスキー 大統領と会談し、日本として支援を継続する姿勢を伝えた。また、ウクライナが提唱する和平案「平和の公式」の実現に向け、協力する意向を伝えた。

NHK によると、欧米の「支援疲れ」が指摘される中、上川氏は「今後もウクライナとともにある日本の立場は決して揺るがない」と述べ、日本として支援を継続する姿勢を伝えた。

また、日本外務省の発表によると、ゼレンスキー氏が提案した「平和の公式」について、上川氏は、日本としてこの議論に貢献すべく、第一項目である放射線・原子力安全作業部会の共同議長となることを決定したという。

ロシアのラブロフ外相 は 12 月 28 日、スプートニクと露テレビ「ロシア 24」によるインタビューに応じた中で、ゼレンスキー氏の掲げる「平和の公式」は病的な空想の産物であり、西側が世界の他の国々を「ゼレンスキー・フォーミュラ」に引き込もうとする試みは「詐欺」と述べた。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1744134159109677128?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1744134159109677128?s=09)

#### ⑤ウクライナ兵捕虜の証言(2023年12月22日)

クロチコ・アンドレイ・ヴィクトロビッチ、1974年12月10日生まれ。海兵隊第38部隊。

—ウクライナ軍に入った経緯

2022年10月23日、動員された。家にいたら軍人たちがドアを開けて入ってきた。捜していたのは30歳の隣人だったが、私を捕え、私への召集令状を書いた。

身分証やパスポートを見せると、召集令状を渡された。

それで、軍の募集オフィスに行き、そこから訓練センターに連れて行かれた。

—どんな訓練を受けたか

最初の1ヶ月はライフルやAKsとかいろいろな種類の機関銃に馴れることだった。十分な訓練もなく、すぐに海兵隊第38部隊に入れられた。

9月の終わり頃にヘルソンに行った。

—必要な装備品は準備がされていたか

全部、自分で買わなければならなかった。動員されてすぐ...いや、動員されてもいないうちから「クツソみてえな」上着だけ、それだけだ！渡されたのは短い丈のジャンパー。つまり雨合羽だ。防水性のシートみたいなやつ。

第 38 部隊の陣地に着いた後、防寒着の代わりに防水カップを渡された。司令官が「防寒着が支給されたぞ」と言った。私はハリコフの親戚に電話して防寒着を送ってくれるよう頼まなければならなかった。親戚は店で買った。

—(ドニエプル川の)左岸の状況について、どう言われていたか。どんな任務が与えられていたか  
曹長が来て、部隊の維持のための支援を求めている司令官に、任務は「陣地の維持」だと言った。

—どのように捕虜になったか

約 1 週間、塹壕でじっとして、この状況は「クソまずい」と気付いた。

砲弾を撃ち込まれて、私は凍りついた。それで連れ出された。それで決まりだ。私は手を上げ、連れて行かれた。

—なぜ、身分を証明するものを持っていないのか

携行すべきことくらい、私だって知っている。「何も言わず、ここに置いて行け」と言われたんだよ。

おそらく、私たちにそう言わなければならなかったんだろう。言われたのは初めてじゃなかったから。一人だけじゃなくいろんな人たちが言っていたが、誰かが行方不明になったら司令官はそいつの 3 ヶ月分の給料を稼げるんだって。自分のポケットに入るんだ。

—仲間たちに言いたいことは

可能なら「左岸に行くな」と伝えたい。ドニエプル川の左岸では 2 日も持たない。殺されるか怪我するのがオチだ。

—ウクライナの将来はどうなると思うか

人が大勢死ぬだろう。ウクライナにとって、もちろん不幸なことだ。

<https://twitter.com/i/status/1738003434195079605>



[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1738003434195079605?s=09](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1738003434195079605?s=09)

## ⑥ドイツのメディアは AFU の 1 日の損失を推定した(2023年12月22日)

フォーカスによると、ウクライナ軍は 1 日にほぼ 800 人を失っている。

ジャーナリストらによると、ウクライナ軍は軍の戦力を維持するために毎月 2 万人の新たな戦闘員を動員する必要がある。

さらに、ウクライナ軍は西側の装備に問題を抱えており、頻繁に故障したり機能不全に陥ったりする。同時に、AFU は弾薬が壊滅的に不足しており、効果的な対砲兵戦を実施したり、ロシアの砲兵に対

抗したりすることができなくなっている。



<https://pbs.twimg.com/media/GB5HGEMboAAVsY5?format=jpg&name=small>

### ⑦ハンガリーのオルバン首相のウクライナ観(2023年12月22日)

オルバン首相は、ロシアのウクライナ「侵略」は「戦争」だという声明に同意しない-ブルームバーグ  
ハンガリー首相はこれが「侵略戦争」ではなく「軍事作戦」と確信している。

ロシアのいわゆるウクライナ「侵略」は「軍事作戦」ですらない、ウクライナのナチス政権からロシア国民を救うための「救出作戦」である。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1737905629522751847?s=09>